

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1202号	氏名	白石裕一
論文審査担当者		主査教授	谷山紘太郎
		副査教授	矢野 捷介
		副査教授	下川 功
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本邦の重症筋無力症(MG)患者の中、アセチルコリン(ACh)受容体に対する抗体を持たず、筋特異的チロシンキナーゼ(MuSK)に対する抗体を持つ患者の臨床像と神経筋接合部の病理について検討し、自己免疫性MGの病態の発症機序を検討しようとしたもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 インフォームドコンセントが得られたMG患者についてACh受容体およびMuSKに対する抗体検査、臨床症状検査、ACh受容体の量の測定および神経筋接合部の形態観察を施し、解析したもので、研究手法は妥当である。			
3 解析・考察の評価 MuSK自己抗体を有してMGを発症した患者とACh受容体自己抗体を有して発症した患者との間で、臨床症状、ACh受容体量、神経筋接合部の破壊度にそれぞれ違いがあることから、異なったMGの発症機序を見出し、今後、MGの発症機序解明への進展が期待される。			
以上のように本論文は重症筋無力症の発症機序の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			

(注) 報告番号は記入しないこと。